

# 御池沼沢ニュースレター

平成 29 年 4 月 25 日 Vol.18

4 月 15 日（土）の第 1 回目のボランティア活動にご参加いただきありがとうございました。

今年は、最近まで寒さが続いたためか、昨年より植物の生育や開花が遅く、花を見ていただくことができなかつた植物がありました。ご覧いただけなかつた植物を紹介します。



ヘビノボラス（花・春）



ヘビノボラス（実・秋）

## ヘビノボラス（西部）

春、黄色い花が咲き、秋には赤い実がなります。茎にあるするどいとげが特徴です。



コタテヤマリンドウ（春に咲く）ホソバリンドウ（秋に咲く）



## 御池沼沢で見られる リンドウ（東部）

春に咲くコタテヤマリンドウ。同じリンドウでも、秋に咲くホソバリンドウもあります。

**5月の活動予定** 集合時間：午前9時30分から

5月2日（火）東部指定地 ショウブ駆除作業

5月10日（水）西部指定地 観察橋沿い除草

5月24日（水）東部指定地 食虫植物生育箇所の除草

5月31日（水）西部指定地 観察橋沿い除草

**お知らせ** 広報よっかいち4月下旬号でもお知らせしておりますが、5月13日（土）はタケノコ掘り会を予定しております。この会は、市民を対象としたイベントで、9時から11時の間、御池沼沢植物群落西部指定地を開放しタケノコを掘っていただきます。ご参加お待ちしております。

# 御池沼沢ニュースレター

平成 29 年 5 月 26 日 Vol.19

5 月 10 日（水）・11 日（木）は、植生調査学習会にご参加いただきましてありがとうございます。また、お疲れ様でした。

今回は、5 月 24 日（水）に作業をしました、東部指定地の食虫植物保護区域に関わり、御池沼沢植物群落に生育する食虫植物について紹介します。

<東部指定地>



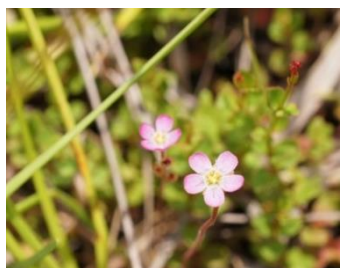
ミミカグサ（葉）



ミミカグサ（花）



ミミカグサ（実）



トウカイコモウセンゴケ（花）



トウカイコモウセンゴケ（葉）



マキミミカグサ（花）

のう

ミミカキグサの仲間は地下茎に捕食嚢を持ち、プランクトンを捕食します。モウセンゴケの仲間は、葉に有る粘毛から粘液を分泌して虫を捕食します。

東部指定地では、食虫植物は、現在のところ、真ん中の松の木付近のみに生育しています。松の木付近でも、トウカイコモウセンゴケは、ミミカキグサに比べて、地面が高く、それほど水がつかないところに生育しています。

西部指定地の食虫植物については、次号で紹介いたします。

**6月の活動予定** 集合時間：午前9時30分から

6月7日（水） 西部指定地 観察路沿い草刈り

6月17日（土）東部指定地 湿地内草刈り

6月21日（水）西部指定地 観察路沿い草刈り

6月28日（水）東部指定地 観察路草刈り

# 御池沼沢ニュースレター

平成 29 年 6 月 21 日 Vol.20

5 月・6 月は植物の発芽・生育時期なので、作業が集中する時期で、活動日も多くなっていますが、活動にご参加いただきましてありがとうございます。  
今回は、御池沼沢植物群落（西部指定地）の食虫植物について紹介します。



村キミミカグサ（花）



ミカグサ（花）



ムラサキミカグサ（花）



モウセンゴケ（葉・花）



トウカイコモウセンゴケ（葉・花）



モウセンゴケとトウカイコモウセンゴケは、花の色の違いで見分けていますが、葉の形でも見分けることができます。モウセンゴケはトウカイコモウセンゴケに比べて葉柄（ようへい）が長くはっきりしています。私は、モウセンゴケの葉を「おたま」、トウカイコモウセンゴケの葉を「しゃもじ」と覚えていますが（トウカイコモウセンゴケの葉は「スプーン」形と言われることもあります）。西部指定地にはどちらも生育しています。一度見比べてみてください。

**7月の活動予定** 集合時間：午前8時30分から（早くなります）

7月19日（水）西部指定地 水源林管理作業

7月26日（水）東部指定地 抑制植物除去作業

7月から9月は、暑くなる前に作業を行いたいので、集合時間を早めます。よろしくお願ひいたします。

上記の日以外に、ノハナショウブにマーキングする作業の日を予定しています。生育状況を見て別途お知らせします。是非ご参加ください。

# 御池沼沢ニュースレター

平成29年7月24日 Vol.21

西部指定地の中央にある観察橋と観察橋の間の湿地には、モウセンゴケやサギソウ、ミミカキグサなどの様々な植物が生育しています。6月22日（木）の活動では、昨年まではなかったカキランの群落を発見しました。

今年の2月の作業では、左下の写真のように、ヤチボウズの間水路が見えるような状態まで除草・集草作業を行いました。この作業が攪乱（環境に変化を与える現象）として働き、カキランの生育に適する環境になったため、カキランの群落がみられるようになったと考えられます。



2月の作業後の状態（水路が黒っぽいラインで見える） カキラン（準絶滅危惧種※）

※『三重県レッドデータブック2015』による

観察橋の間には、ミミカキグサの葉や、サギソウの蕾がたくさんあります。これから様々な花が咲くのが、待ち遠しいです。

**8月の活動予定** 集合時間：午前8時30分から

8月2日（水） 東部指定地 観察路保全・抑制植物駆除作業

8月23日（水） 西部指定地 水源林・観察路保全作業

8月30日（水） 東部指定地 抑制植物駆除作業

以前お配りした活動予定表で7月29日実施予定とした食虫植物観察会は、8月11日（金・祝）に変更します。観察会は、午前には御池沼沢現地、午後は文化財整理作業所で行います。皆様のご来場をお待ちしております。

また、現地での安全管理などをお手伝いいただける方がございましたら、石毛までお声掛けください。

# 御池沼沢ニュースレター

平成 29 年 8 月 22 日 Vol.22

いつも御池沼沢のボランティア活動にご協力いただきありがとうございます。  
今回は、8月 11 日に行いました食虫植物こども観察会にちなんで、いろいろな食虫植物について紹介させていただきます。

- ①ウツボカズラ・ヘイシソウの仲間      ②ハエトリソウの仲間  
葉先についた捕虫袋や筒状の葉で      葉を二枚貝のように閉じて虫を捕  
落とし穴方式により虫を捕まえる      まえる

捕虫袋：  
蓋があります



←ウツボカズラ

ハエトリソウ→



ウツボカズラとハエトリソウ  
は購入しました。

- ③モウセンゴケの仲間      ④タヌキモ・ミミカキグサの仲間  
葉からネバネバした液を      根や葉にある捕虫囊<sup>のう</sup>でプランクトンを吸い  
出して虫を捕まえる      込んで捕まえる



モウセンゴケ



タヌキモ (以前は御池にありました)



ミミカキグサ

日本には 20 種類ほどの食虫植物が自生しています。自生しているのは、③モウセンゴケの仲間と④タヌキモ・ミミカキグサの仲間です。

9月の活動予定      集合時間：午前8時30分から

9月9日(土) 西部指定地 抑制植物駆除作業

9月21日(木) 東部指定地 抑制植物駆除作業

以前お配りした予定表では9月20日(水)の予定でしたが、都合で21日(木)に変更いたします。

9月27日(水) 東部指定地 観察路・湿地内除草・集草作業

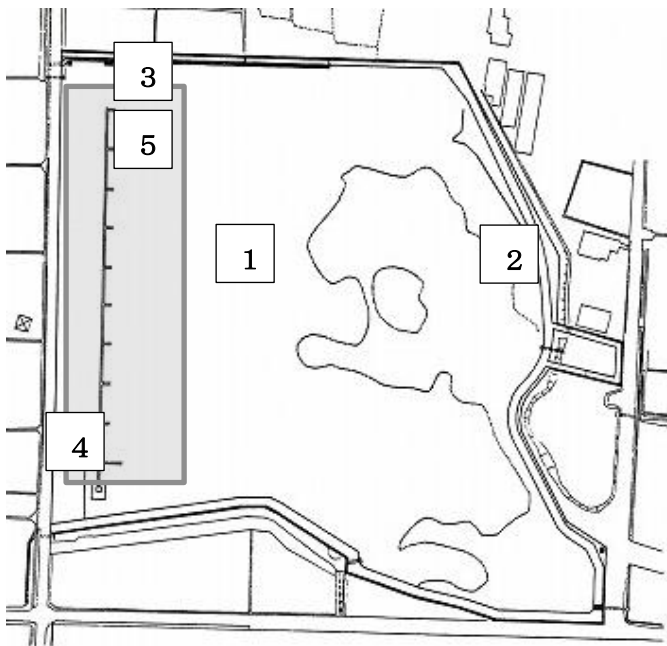
# 御池沼沢ニュースレター

平成 29 年 9 月 13 日 Vol.23

いつも御池沼沢植物群落の環境保全活動にご協力いただきまして、ありがとうございます。

平成 29 年度の環境保全ボランティア活動も、もうすぐ半年がたちます。これまで、湿地の中だったり水源林だったり、いろいろな時期に様々な場所で作業を行ってきました。社会教育課では、御池沼沢植物群落の中に、特に保護し環境改善作業を加えて行く場所として保全区域を定めており、これまでの環境保全作業は、その場所を中心に行ってきました。

今回は、東部指定地の保全区域について紹介したいと思います。



## ①食虫植物保全区域

保全対象植物：

トウカイコモウセンゴケ

ミミカキグサ

ホザキノミミカキグサ

作業時期：春・冬

5月の作業場所です。作業の効果で、分布域が確実に拡大しています。

## ②ミクリガヤ保全区域

保全対象植物：ミクリガヤ

作業時期：冬

近年、生育範囲が広がっています。昨年から、実のついている穂の数を数えています。

東部指定地では、①・②以外に、保全区域にはしておりませんが、ハルリンドウ（8/30 作業）が以前生えていた場所（③）や、池状態に戻す実験を行っている場所（④・⑤）など、作業を行っている場所があります。

また、灰色網掛けの部分では、セイタカアワダチソウ・アメリカセンダングサ・ツルマメ・ヨシ・ガマなど抑制植物の駆除を行っています。これから、作業を行う予定ですので、よろしくお願いいたします。

今月の活動予定 集合時間：午前9時30分から（時間が変わります）

10月4日（水）西部指定地 観察路除草作業

10月14日（土）東部指定地 抑制植物除去作業

# 御池沼沢ニュースレター

平成 29 年 10 月 6 日 Vol.24

いつも御池沼沢植物群落の環境保全活動にご協力いただきまして、ありがとうございます。

今回は、西部指定地の環境保全区域について紹介したいと思います。



## ①シラタマホシクサ保全区域

保全対象植物：シラタマホシクサ

作業時期：春～秋

今年も何回か除草作業をしました。もっと沢山のシラタマホシクサがみられるよう、11月に除草と播種を予定しています。

## ②湿生植物保全区域

保全対象植物：食虫植物・サギソウ・トキソウ・カキランなど

作業時期：初夏、冬

今年の2月におこなった徹底した除草・集草や、6月におこなったヨシの刈り取り作業の効果で、湿地のさまざまな植物が見られる場所になりました。

## ③食虫植物保全区域

保全対象植物：ミミカキグサ・ホザキノミミカキグサ・ムラサキミミカキグサ

作業時期：春・冬

5月の作業場所です。作業の効果で、ミミカキグサの仲間だけでなく、昨年までほとんどなかったシラタマホシクサも増えています。

# 御池沼沢ニュースレター

平成 29 年 10 月 26 日 Vol.25

御池沼沢植物群落の環境保全活動にご協力いただきまして、ありがとうございます。

10月25日(水)に、葦毛<sup>いもう</sup>湿原に視察研修に行きました。その内容について、お知らせいたします。

## <葦毛湿原について>

- ・愛知県指定天然記念物
- ・平成4年2月28日指定
- ・愛知県豊橋市岩崎町に所在
- ・砂礫層の緩やかな斜面に立地し、岩盤から流れ出る湧水で涵養される湿地です。
- ・平成24年頃から大規模な植生再生事業を進めており、ヒメミミカキグサやヌマトラノオなど14種類の植物が復活しています。中には、30年くらい休眠していた種子が発芽したと考えられる例もあるそうです。



## <植生再生事業の進め方>

- ・湿地の中心には手を着けず周辺の森林化したところを湿地に戻していました。
- ・樹木を伐採・伐根しただけでは湿地には戻らないので、表土も剥いでいました。
- ・表土を剥ぐにあたっては、埋土種子のある地層（土壌シードバンク）のある場所を検討しつつ進めていきました。土壌シードバンクは、地表からごく浅いところにあるそうです。



葦毛湿原一の沢から湿地を見下ろした様子

御池沼沢でも参考にできそうなことを伺い、いろいろ勉強になりました。

11月の活動予定 集合時間：午前9時30分から  
11月1日(水) 西部指定地 水路浚渫  
11月18日(土) 西部指定地 シラタマホシクサ保全作業



# 御池沼沢ニュースレター

平成 29 年 11 月 14 日 Vol.26

御池沼沢植物群落の環境保全活動にご協力いただきまして、ありがとうございます。

11月18日(土)には、シラタマホシクサの保護・増殖作業を予定しております。そこで、今回はシラタマホシクサについて紹介します。



- ・ホシクサ科の1年草
- ・東海丘陵要素植物(東海地方の固有種)の一つ
- ・日当たりが良く、常に水が流れている場所に生育。

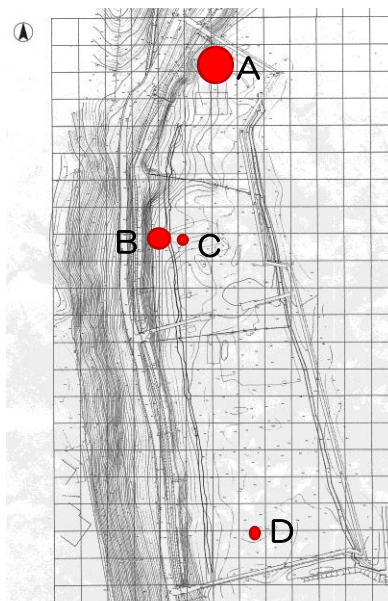
御池沼沢では、Aのシラタマホシクサ保全区域で一時見られなくなったことがありました。Bは、アンペライしか生えていない水の流れる砂礫層の場所でしたので、アンペライをすべて抜き取ったうえで、H25年に、絶滅しないよう、種を蒔きました。やはり、シラタマホシクサの生育環境に向いていたようで、無事根付き、増えています。Cでも、わずかに生育しています。

Dの食虫植物保全区域では、昨年頃から見られるようになりました。

右の写真はシラタマホシクサの種です。0.5 mm くらいの種が多数入っています。

現在の生育地↓

(丸が大きいほど個体数が多い)



種



種ができて  
いる状態



**12月の活動予定** 集合時間：午前9時30分から

12月2日(土) 東部指定地 食虫植物保全区域作業

12月10日(日) 東部指定地 全面除草作業

12月11日(月) 東部指定地 10日の除草作業後の集草作業

10日・11日は地域の方や大池中学校さんとの協同作業になります。

# 御池沼沢ニュースレター

平成 29 年 12 月 4 日 Vol.27

御池沼沢植物群落の環境保全活動にご協力いただきまして、ありがとうございます。

12月2日（土）の活動では、東部指定地で、食虫植物保全区域の除草と、7月に行ったマーキングを参考に、ノハナショウブ周辺の植物の根の抜き取りを行いました。来年は、ノハナショウブと食虫植物が同時に見られる状態になっていると嬉しいですね。

下記の表は、ノハナショウブの特徴や、他の類似植物との違いです。

種類	アヤメ (アヤメ科)	ノハナショウブ (アヤメ科)	カキツバタ (アヤメ科)	ショウブ (サトイモ科)
生育地	乾燥した地面	湿地から草地	湿地や浅い水中	湿地
特徴	・外側の花びら (外花被片)の 付け根に網目 模様がある ・花は葉の先端 より高い	・外花被片の付 け根に黄色い筋 がある ・花は葉の先端 より高い	・外花被片の付 け根に白い筋が ある ・花は葉の先端 より低い	・芳香がある ・花は円柱状で、 葉の途中につく ようにみえる

※外花被片とは、いわゆる萼（がく）のことです。



ノハナショウブ



ノハナショウブが咲く風景



ショウブの花

## 前号の集合時刻の訂正

12月10日（日）・11日（月）の集合時刻が間違っていました。どちらの日も、現地に**午前8時50分**集合です。ご参加いただける方は、石毛までお声掛けください。なお、10日、車でお越しの方は、8時30分に文化財整理作業所にお越しください。現地までは公用車で送迎します。よろしくお願いいたします。

# 御池沼沢ニュースレター

平成 29 年 12 月 25 日 Vol.28

御池沼沢植物群落の環境保全活動にご協力いただきありがとうございます。

シラタマホシクサの説明をしましたニュースレター Vol.26 の中で、「東海丘陵要素植物」という言葉を使いました。今回は、この「東海丘陵要素植物」についてです。

○東海丘陵要素植物とは・・・

- ・東海地方の丘陵、台地の低湿地およびその周辺に固有、もしくは、日本国内では分布の中心がこの地方周辺にある植物のこと
- ・主な生育地は、貧栄養で弱酸性の湧水<sup>ゆうすい</sup>によって涵養<sup>かんよう</sup>され、泥炭層<sup>でいたん</sup>が発達しない湿地

○東海丘陵要素植物とされている植物

シデコブシ・**ヘビノボラス①**・ナガバノイシモチソウ・**トウカイコモウセンゴケ②**・イヌナシ・ハナノキ・ナガボナツハゼ・ヒトツバタゴ・ミカワシオガマ・ヒメミミカキグサ・ミカワバイケイソウ・**シラタマホシクサ③**・ウンヌケ・**クロミノニシゴリ④**・フモトミズナラ

※1 **四角囲い**のものは御池沼沢で見られるもの

※2 フモトミズナラは、文献によって載っていないことがあります。また、フモトミズナラは平成 18 年に新しく命名されており、元のモンゴリナラと書かれていることもあります。

【参考文献】

- ・植田邦彦「東海丘陵要素の植物地理と保護」『水草研究会会報』37 号、1989 年
- ・『豊田市自然観察の森 企画展 東海丘陵要素植物～郷土の宝の植物たち～』（ネットで見られます）

それでは皆さん、よいお年をお迎えください。来年もよろしくお祈いします。

**1 月の活動予定** 集合時間：午前 9 時 30 分

1 月 10 日（水） 西部指定地 湿生植物保全区域除草

1 月 24 日（水） 西部指定地 ヤチヤナギ群落周辺除草



# 御池沼沢ニュースレター

平成 30 年 1 月 9 日 Vol.29

## あけましておめでとうございます

本年もよろしくお願いいたします。

平成 29 年度も4分の3が過ぎました。平成 29 年1月のニュースレター Vol.13 では、平成 29 年の目標を3つ立てておりました。

①食虫植物の保護増殖作業を続ける。これについては、東部・西部とも、しっかりできたと自負しております。みなさん、ありがとうございました。

②ミクリガヤの増殖作業を行う。これは、12 月中に、以前ミクリガヤが生えていた場所の樹木を抜き取り、日光があたるような環境を整えたので、今後、何が生えてくるか観察していく予定です。



樹木抜き取り前



樹木抜き取り後



③西部指定地で、環境改善のため湧水量を増やせないかを考える。現在、管理道路東側の水路を浚渫して、水路の機能を回復させることを考えています。また、湿地際に溜まっている腐葉土を取り除き砂礫層を露出させることで、湧水が湿地に流れ込むのではないかと考えています。

このように、年頭に立てた計画については、みなさんの協力を得て、実施してきました。

そこで、平成 30 年の目標と活動計画は、この1年間、御池沼沢の環境保全に取り組んでいただいたみなさんと一緒に是非、作っていきたいと考えております。3月7日、平日になりますが、お話し合いの時間を設けたいと思います。一緒に考えていただくと大変嬉しく存じますので、どうぞよろしくお願いいたします。

1月の活動予定 集合時間：午前9時30分から

1月10日（水） 西部指定地 食虫植物保全区域除草

1月24日（水） 西部指定地 ヤチヤナギ群落周辺除草

# 御池沼沢ニュースレター

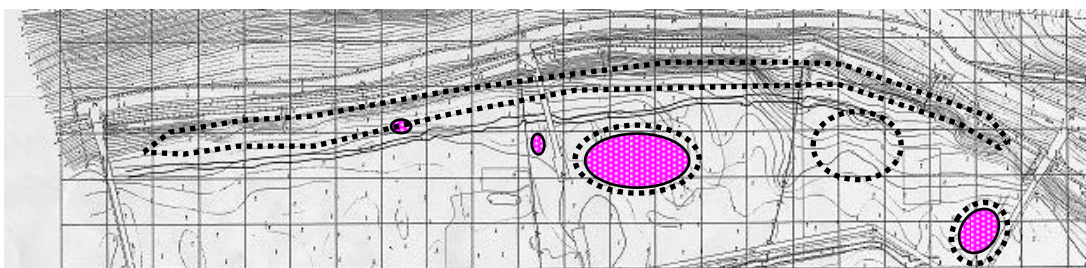
平成30年1月23日 Vol.30

御池沼沢植物群落の環境保全にご協力いただきまして、ありがとうございます。



1月の作業で、ヤチヤナギ群落周辺の除草作業を行いました。

ヤチヤナギは、寒地性の植物で、御池沼沢植物群落は、日本での生育南限地域であるということはよくお話していますが、今回は御池沼沢植物群落での、ヤチヤナギの生育場所についてみてみましょう。

下の図は、以前の生育地と現在の生育地を比較したものです。



## <凡例>

-  : 現在の生育地
-  : 以前の生育地（加田勝敏「国指定天然記念物「御池沼沢植物群落」と安井直康氏（『四日市市史研究』第5号、平成4年）掲載の「御池沼沢地主要植物の群落地図 安井作成」参照）

現在の生育地は、以前から継続して生育している場所ですが、以前の生育地の多くの場所で、ヤチヤナギの生育が確認できなくなっています。

御池沼沢植物群落では、ヤチヤナギはミズゴケブルト（ミズゴケが盛り上げて凸状になったところ）に生育しています。ヤチヤナギ生育地に近接するミズゴケブルトの環境を良くすれば、群落が広がるかもしれません。

**2月の活動予定** 集合時間（5日・21日）：**午前9時30分**から

2月4日（日）西部指定地 全面除草 集合時間：**午前8時50分**

この日は、地域の方との協働作業になります。

2月5日（月）西部指定地 食虫植物保全区域 除草・集草

2月21日（水）西部指定地 水路浚渫

## お知らせ

広報よっかいち1月下旬号で、平成30年4月からの環境保全ボランティアの募集をしています。引き続きご参加いただける方は、石毛までお願いします（応募用紙は不要です）。

# 御池沼沢ニュースレター

平成30年2月21日 Vol.31

御池沼沢植物群落の環境保全にご協力いただきまして、ありがとうございます。

今号も前号に引き続き、ヤチヤナギについてです。ヤチヤナギが、御池沼沢以外では、日本国内でどこに生育しているか調べてみました。

北海道・東北地方では何か所か自生地がありますが、関東以西では、尾瀬ヶ原、愛知県田原市黒河湿地植物群落に生育しています。関東以西に点在しているのは、氷河期のレリック（残存種・遺存種）と考えられています。



ヤチヤナギの雄花



ヤチヤナギの葉



## 3月の活動予定

3月7日（水）：午前9時30分から **文化財整理作業所**  
来年度の活動計画作成

3月17日（土）：**午前10時から** **文化財整理作業所**  
H30年度活動説明会

3月17日の平成30年度活動説明会は、新規で応募される方がいない場合は行わない予定でしたが、3月7日に作った活動計画をお伝えしなければならないので、新規応募者がみえなくても説明会は行います。

# 御池沼沢ニュースレター

平成30年3月31日 Vol.32

## 1年間ありがとうございました

今年度は、現地での作業以外にも、視察や勉強会にもご参加いただきありがとうございました。この1年の取り組みをまとめてみました。

<作業>



東部ショウブ抜き取り (5/2)



西部観察橋間ヨシ刈り取り (6/17)



東部食虫植物保全区域作業 (12/2)



西部シラタマホシクサ作業 (11/22)

<視察>



葦毛湿原視察 (10/25)

<学習会>



植生調査勉強会 (5/10・11)

来年度もよろしくお願いたします。

4月の活動予定 集合時間：午前9時30分から

4月14日(土) 西部指定地 水源林整備(タケ対策)

4月25日(水) 東部指定地 ショウブ抜き取り